



『東髪美人鏡』 橋本周延 明治20年

# 日本人と洋服の150年

150 years of Western Fashion in Japan — Transition from the Kimono to Western clothing —

日本人が洋服を着始めておよそ150年が経ちます。幕末、黒船来航によって人々は自分たちとは全く違った服装を目の当たりにしました。1000年の長きにわたって着物を着続けてきた日本人が、その後わずか150年の間にどのように洋装を受け入れ、今日世界に独自のファッション性を発信するようになったのでしょうか。本展では明治初期の洋装からバリ・コレクションに進出した日本人デザイナーの作品までを展覧し、憧れ、コンプレックス、アンデシティの再認など、日本人のさまざまな思いを探ります。



ドレス 明治20年代初め



フロックコート 明治時代 明治天皇着用



ドレス 大正末期～昭和初期



ドレス 昭和10年代



ドレス 昭和34年頃



コート、ジャケット、パンツ 山本耀司 1983年  
文化学園ファッションリソースセンター所蔵



ドレス「リズム・ブリーツ」 三宅一生 1990年  
文化学園ファッションリソースセンター所蔵



## 文化学園服飾博物館 BUNKA GAKUEN COSTUME MUSEUM

〒151-8529 東京都渋谷区代々木3-22-7 新宿文化クイントビル  
TEL.03-3299-2387 JR・京王線・小田急線新宿駅(南口)より徒歩7分  
都営地下鉄新宿線/大江戸線/京王新線新宿駅(新都心口)より徒歩4分 地下道出入口0-1に隣接

学校法人文化学園  
文化学園大学/文化ファッション大学院大学/文化服装学院  
文化外国語専門学校/文化出版局/文化学園服飾博物館

# 日本人と洋服の150年

150 years of Western Fashion in Japan — Transition from the Kimono to Western clothing —



『外国人衣服仕立之図』一川芳興 万延元年



『貴女裁縫之図』安達時光 明治20年



『男女西洋裁縫案内』  
明治20年



2016. 10月6日(木) → 11月30日(水)

開館時間/10:00~16:30 (11月3~5日は18:00まで。10月14日、11月18日は19:00まで。入館は閉館の30分前まで)  
休館日/日曜日、祝日(ただし11月3日は開館)  
入館料/一般500円、大高生300円、小中生200円  
※20名以上の団体は100円引、障がい者とその付添者1名は無料  
11月7日は無料(文部科学省「教育・文化週間」に協力)  
ギャラリートーク/10月29日(土)、11月19日(土) 各回13:30~(12:30より受付順30名)



文化学園服飾博物館  
BUNKA GAKUEN COSTUME MUSEUM

<http://museum.bunka.ac.jp>